

1. DAQシステム調達について(宮川)

- 台数: ADC 60, DAC 40, AA 60, AI 40, IO chassis 25
- 参考: [JGW-T1201168-v2](http://gwdoc.icrr.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/DocDB/ShowDocument?docid=1168) (<http://gwdoc.icrr.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/DocDB/ShowDocument?docid=1168>)

2. Risk factorについて

– 端山君からコメント有り

- DGS-6のLIGOのサポート

方向転換するかどうかということの他に、なにかこちらで問題が起きた時にそれに対する協力体制についてもリスクかと思います。僕が知る限りですが、LIGO内でもドキュメントが不十分な状況なので、LIGOの方も必ずしもサポートできないのではと思っています。そういった意味でPが3、Sが2または3くらいに思うのですがどうでしょうか？

- DGS-7のソフトのバグについて

ここはPは3だと思います。Sは2はあると思うのですが、どうでしょうか？

以下はこのエクセルには入らないことかもしれませんが、一応忘れないうちに。

解析ではバグを減らす為に、複数人が同じソフトを、少しずつパラメータを変えるなどして、何度も走らせてテストします。

DGSのソフトも複数人でテストして、おかしい所があるのか、あればどこがおかしいのか等を共有する体勢が必要に思います。

ただマンパワーという大きな問題があります。。

4. アナログ回路制作プロセスの現状(上泉)
5. アナログ回路制作説明会について
 - 9月下旬から10月上旬を計画中
6. DC電源の選定について
 - 条件: 18V 30Aが25組(50台)程度、その他の電圧(6V, 12V, 24Vなど、但し電流は多くなくていい)が数種類、低雑音
 - 来年度初めに調達
 - Kikusui: 安価、性能はそこそこ
 - 東陽テクニカ(KEPCOの代理店)ATEシリーズ: 高価、高性能、大きい
 - KEPCO、JQEシリーズ: aLIGOで採用実績有り、性能はATEとKikusuiの中間くらい、100V対応していないため改造が必要、種類を頼むと改造費がかさみ割高になる、単一種類だとKikusuiと同程度の値段か

7. 現状報告

- アナログ回路(上泉)
- 坪野研システム(道村)
- 天文台システム(端山)
- 防振システム(関口)
- 低温システム(山元)

8. CLIOでの観測について(宮川、端山、山本、譲原、田中)

- 10月15日の週にCLIOで観測準備及び短時間の観測
 - CLIOでのGentooでの再ロック及び再キャリブレーション
 - 干渉計モニタシステムの構築
 - センサー部の設置
 - DMTサーバの立ち上げ
 - データパイプラインの構築
- 準備状況の確認
 - 旅費の確認
 - 入坑の手続き
 - CLIOのロック状況
 - ロック用ソフト準備状況
 - 解析用ソフト開発状況
 - センサーの準備状況

9. その他

- 11月初め宮川がLHOに訪問予定